

シニア世代の新しい働き方 介護助手にインタビュー!

「やらされてる」じゃなく 「やっている」という充実感

介護助手 四宮弘一さん(66歳)



入所者の車の車イスのメンテナンスも任されている四宮さん。
取材協力:特別養護老人ホーム ヴィラ羽ノ浦

介護助手になったきっかけとは?

四宮 医療用薬品開発の仕事に43年間勤めて、65歳で退職しました。しばらくは自分の時間を自由に過ごしていたんですが、あるとき無性に「やっぱり働きたい!」って気持ちになったんです(笑)。でも、口で言うだけじゃなく、実際にやってみようって思って、やっぱり年齢がネックになってしま...。これからは前職のキャリアは抜きに、新しいことにチャレンジしようって考えたんです。それから、シルバー人材センターで開かれている介護の講習会を紹介してもらい4日間参加しました。そこで見た広報誌で介護助手について知って、躊躇なく応募し、縁あってここに勤めさせていただいています。

これまで勤めた中で感じたことは?

四宮 介護助手として勤めはじめて10カ月。今までとは違う異業種への発見がたくさんあって新鮮でした。なにもかも初めてのことがばかりで「こうしたらよかった...」と反省することが毎日ひとつはあります。職員の方々の人をいたわる心や思い



やる心を目の当たりにして、当初は自分に足りないなど痛感しました。それでも、私なりに入所者さんの要望に応じて満足してもらええるものを提供できて、喜んでくれたのは嬉しかったです。実は私は三世代つづく大工の家の生まれで、手作業が好きで、これまでベッドに付ける落下防止の柵や、車イスに付けるヘッドレストなどを手づくりしています。

うだったら、入所者さんに失礼。絶対そうならないように、常に勉強をして、前向きに取り組んでいきたいと思えます。「ここに来れば、なんか元気が出る!」って、そう感じていただけの場所にするのが私の目標なんです。掃除ひとつとっても、常にキレイに、施設を美しく保つことで、入所者さんにも職員さんにも元気になってもらえようという仕事を、これからもつづけていきたいです。

この仕事のやりがいや教えてください

四宮 元気に働ける場所があることが、なによりも嬉しいんです。仕事のやり方も、それぞれに責任が与えられていて「やらされてる」じゃなく「やっている」という充実感があります。ここへ来て初めて分かったのが、高齢者の方とコミュニケーションした際の反応の良さです。声をかけるとすぐ返ってくる。すぐ打ち解けることができます。言葉が上手く出せないような方でも、話しかけるとスッと目の光が変わるんですよね。まだまだ学ぶことは山ほどありますが、「一日一歩ずつでも前に進んで、これからも元気に勤めて、5年後には納得できる仕事ができるようになつて成果を出したいです。」

これからの目標は?

四宮 自分が元気なうちはどんな仕事をつづけたいですね。5年後には71歳になりますが、仕事がないとつまらないと感じるよ

これから介護助手になりたい人へ

男性にとって介護はハードルが高いと思っれている人も多いかもしれませんが、すんなり入っていただける業種ですよ。ぜひチャレンジしてください!新しい世界が広がります。



特別養護老人ホーム ヴィラ羽ノ浦 施設長

久世光洋さん

手先の器用さを活かして、いろいろと設備などを工夫して便利にしたり、入所者さんの要望に応じてくれています。おかげで介護職員が専門業務に集中できるので助かります。

まずはお気軽にお問い合わせください。

徳島県社会福祉協議会

徳島市中昭和町1-2 県立総合福祉センター3F

☎088-654-4461 または 088-625-2040

介護助手とは?

- ・徳島県が創設したシニア向けの新しい働き方。
- ・対象はおおむね60歳以上(50代も参加可能)。
- ・労働時間は1日4時間、1カ月16日程度。
- ・掃除やシーツ交換など介護の補助的な業務。

無資格・未経験でも参加できます!

時給制

(規定による。期間終了後継続雇用となった場合、各施設の賃金体系に基づき支給)

元気なシニアのみなさん!

介護助手として働いてみませんか?

*過去3年間で188名の介護助手が活躍しています。